

東京都 H・N さん(移植本人：61)

臍帯血移植に対する思い

妻が、昨年8月にフィラデルフィア染色体陽性、急性リンパ性白血病の診断を受けて入院。造血幹細胞移植を受けるべく治療をしました。9月に臍帯血で適合が見つかり、10月16日に臍帯血移植を行いました。造血幹細胞移植に比べ良い点と悪い点の説明を受けて移植しました。妻の年齢が移植にはぎりぎりの高齢で、生着する迄少し時間がかかり心配でしたが12月に生着し今日に至っています。ひどくはないのですが副作用があり、まだほとんど自分で食事が出来ない状態ですが、元気でベッドに座りおしゃべりしたり、年末年始のテレビを見たり出来るまで回復しています。完治し通常生活に戻る迄にはまだ時間が掛かると思いますが、白血病と聞いた時の目の前の暗さが取れて前向きに治療を受けています。先生方や看護師さんの手厚い治療の元で本人も退院の日を待っています。臍帯血の適合、提供がなければ今こうして明るく、新しい年を迎えることも出来ていないと思います。貴重な臍帯血を提供して下さったドナーの方の決断と勇気と優しい心に本当に感謝します。ありがとうございました。